

対ブラジル等いわし輸出拡大連携推進協議会

■取組の背景

- 近年のサバの不漁を受け、輸出商材としてはマイワシが中心となりつつあり、主に缶詰用や養殖餌として輸出されている。しかし銚子・波崎地区にはミール工場がなく、生餌向け及び国内缶詰用のみで水揚げされるすべての魚を捌ききれず浜値の維持・向上が課題となっていた。

■取組の目的

- ブラジル及び南アフリカ向けの輸出体制の構築
- ブラジルにおけるイワシ類ニーズの把握
- 輸送コストの削減

■協議会の構成員と役割

	段階	名称	具体的な取組内容
事業実施者	生産	銚子市漁業協同組合	・高鮮度・高品質なマイワシの運搬
	加工流通	株式会社大一 奈村魚問屋	・マイワシの凍結、新商品の製造・販売
	輸出	株式会社工マック	・輸送ルートの手配
	調査	一般社団法人いわし普及協会	・流通及びマーケティング調査
	情報提供	一般社団法人海洋水産システム協会	・協議会への情報提供

■取組内容

生産

◆高鮮度・高品質なマイワシの確保

- ✓ **製品に関するクレームの防止**➢輸出を想定しているブラジル及び南アフリカは、いずれも遠距離の輸送となり、輸送に係るコストと時間が大きい。遠距離輸送を行ったにも関わらず、クレームが発生してしまった際には大きな損失が発生することとなる。クレームの発生防止のため、改めて**高鮮度・高品質なマイワシの確保に向けて、調査・検討**を行う

加工・流通

◆製品の製造及び輸送にかかるコストの削減

- ✓ **シートパレット用フォークリフトの導入**➢製品の梱包に欠かすことのできないパレットは使い捨てであるため、シートパレット用フォークリフトを導入し、**従来使用していたパレットよりもコストの低いシートパレットを使用することで、コスト削減**を図る。
- ✓ **脱パンライン導入による省人化**➢機械化された脱パンラインを導入することで、**従来脱パンを手作業で行っていた作業員の省人化**を図る

輸出

◆ブラジルにおけるイワシ類に対するニーズ調査

- ✓ **現地におけるマーケット調査**➢イワシ類のニーズが高まる時期や仕様用途、輸出の際の輸送ルート等について調査し、**ブラジルにおけるイワシ類のニーズを把握**する。

ブラジル及び南アフリカにむけたイワシ類の輸出

■取組の概要



■取組の現状と今後の展望

- ブラジルにおけるイワシ類のニーズ調査を実施し、日本産イワシ類のニーズが高まる時期を想定。輸出を見越した原料確保を行っている。
- ブラジルの既存の取引先に対して輸出を実施。

★本取組によって得られたバリュー★

新規マーケット開拓	ブラジル及び南アフリカに向けた販路開拓
コスト削減	シートパレットへの変更による輸送に係るコスト削減
省人化	脱パンラインの機械化による省人化